

幼小ジュニアプログラム

幼稚園・保育所の幼児、小学校低学年の児童向けの野外のプログラムです。団体で来館される場合に、事前に予約をしてご利用下さい。子ども達の活動に必要なものの中には有料のものもありますので、事前に博物館にご相談ください。

- このプログラムの指導者は団体引率の先生です。不明な点がありましたら事前に博物館職員と進め方やポイントなどを打ち合わせすることができます。（下見の際にお伝えすることもできます）
- 基本的にパッケージになっているので、持参するものではありません。
- プログラムに必要なものの受け渡しは、当日、インストラクターズルームで行います。実施する際にインストラクターズルームにお越しください。

はくぶつかんをたんけんしよう

ねらい	紙しばい形式のクイズを解きながら館内を見学し、自然に対して興味・関心をもたせる。
使用場所	博物館館内(第1展示室～第5展示室)
活動時間	約40分
内容	館内見学するときに、引率者が紙しばい形式のクイズを子どもたちに見せながら行うプログラム。雨天時の館内見学に最適。
内容物	はくぶつかんをたんけんしよう(紙芝居) ※1団体に複数貸出可



紙芝居の表紙



館内で実施しているようす

はくぶつかんをたんけんしょう プログラム（進め方）

活動のねらい

- ・展示室内の主な展示物を通したクイズを活用し遊ぶ活動を通して、自然に対しての興味・関心を持たせる。

活動時期

4月～3月
通年

活動場所

博物館内

活動時間

約60分

必要な道具

はくぶつかんをたんけんしょうの紙芝居

活動の流れ

活動	留意点
1 プログラムの進め方を説明する ・紙芝居の表紙を使って楽しむ雰囲気作りをする	○博物館の展示についてのクイズを行うことを伝え、遊び感覚で体験できるようにする。
2 第1展示室のクイズを行う	○実施に触らせることで実感させる。
3 第2展示室のクイズを行う	○展示物の歯の化石を見て考えられるようにする。
4 第3展示室のクイズを行う	○環境（生息する場所）によって体のつくりが変わっていることに気づかせる。（目の退化や爪の発達など）
5 第4展示室のクイズを行う	○何を食べるかによって体のつくりが変わっていることに気づかせる。第3展示室との関連も考慮できるとよい。
6 第5展示室のクイズを行う	○絶滅について考えられるようにする。身近な自然を大切にする気持ちをもたせたい。
7 まとめをする	○学んだことを家の人に話すことで学びに深まりが生まれるので、家庭で話題として話せるように促す。

評価の観点

- ・ひとりひとりが楽しく活動し、自然に興味・関心をもつことができたか。
- ・生物の大切さを感じることができたか。